

平成
16
年度

一般会計補正予算(第6号)

可決

1億9千490万8千を減額して69億296万9千円となる

* 年度末による精算金
が主な原因

* 土木費4件(道路橋
梁費2件2千770万円・
都市計画費2件770万円)
が諸事情により繰越明
許費となる

歳入

地方消費税交付金1千202
万5千円の増、財産運用
収入1千335万1千円の増、
財産売却収入3千656万7
千円の減、基金繰入金1
億7千369万8千円の減

歳出

総務管理費4千22万7千
円の減、児童福祉費1千
236万4千円の減、保険衛
生費1千369万2千円の減、
林業費1千88万円の減な
ど

主な質疑

Q 総務管理費の減は
備品購入しなかった
こと、病院循環タクシ
ン補助金打ち切りによ
る減、JR越後湯沢駅
エレベーター設置補助
金の減、コンピュータ
ーシステムの見直しに
よる委託料・借上料の
減によるもの

A 船沢橋の現状は
17年度中に詳細設計
完了・事業費算出・協
定締結をして18年度よ
り3カ年計画で施工予
定

Q 道の駅関連施設調査
費の減は

A 当初整備計画を策定
できると考えていたが、
協議会との話の中で候
補地の選定に時間を要
したため

特別会計補正予算

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出33万8千円を減額し
総額を9億6千493万2千円とする

可決

歳入/県補助金47万8千円の減
歳出/出産育児一時金120万円の増、
埋葬諸費190万円の減など

介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出3千569万6千円を増額し
総額を6億2千240万1千円とする

可決

歳入/保険料139万8千円の増、
国・県の支出金1千636万円の増、
支払基金交付金1千130万9千円
の増、

歳出/保険給付費3千534万円の増、
繰入金662万9千円の増、
諸支出金174万6千円の増、
基金積立金174万6千円の減など

平成
16
年度

下水道特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出3千100万円を減額し
総額を13億1千722万1千円とする

可決

歳入/使用料2千180万円の減、
町債920万円の減

歳出/建設費2千5万8千円の減、
汚水管理費679万円の減、
公債費215万2千円の減など

企業会計補正予算

水道事業会計補正予算(第2号)

○収益的収入及び支出
収入/2千487万7千円を減額し
4億3千607万3千円とする
支出/632万を減額し
4億1千987万2千円とする

可決

○資本的収入及び支出
収入/4千827万5千円を減額し
7千646万1千円とする
支出/5千635万を減額し
2億7千95万2千円とする

(収入が支出に対し不足する額1億9千449万
1千円は当年度分消費税資本的収支調整額
及び過年度損益勘定留保資金で補填する)

温泉管理事業会計補正予算(第3号)

○収益的収入及び支出
収入/408万9千円を減額し
1億1千491万1千円とする
支出/172万7千円を増額し
1億1千55万7千円とする

可決

○資本的収入及び支出
収入/なし
支出/30万円を増額し
4千530万7千円とする

(収入が支出に対し不足する額4千530万7千
円は当年度分消費税資本的収支調整額及び
過年度損益勘定留保資金で補填する)

病院事業会計補正予算(第3号)

○収益的収入及び支出
収入/2万9千円を減額し
9億6千514万円とする
支出/2万6千円を減額し
10億229万2千円とする

可決

(県補助金の減額、運営費補助金の減など)